

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	石谷事業所
住所	岐阜市石谷字池田1330番地1
電話番号	058-235-6077

事業所番号	2110101157
管理者名	山田 芳子
対象年度	令和3年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

機械すき和紙製造の九重製紙（美濃市御手洗）とともに、当法人で生産しているバナナの実をつけた後に枯れる茎の繊維を配合した機械すき和紙を共同で開発した。

<目的>

本来廃棄されるバナナの茎を利用することでゴミの削減となり、材料は提供できるがそれを生かすノウハウがない我々と地域で高い技術力を持った企業がマッチングすることで新しい製品が生まれ、それにより利用者に提供する生産活動が増えることで彼らの賃金・工賃の向上を目指すことを目的とした。

<成果>

県内で技術のある美濃和紙と連携ができ、地産地消に繋がった。本来廃棄するものが製品に生まれ変わるといふ、SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」の取り組みにもなり、また、紙の原料になる木材の伐採を抑え、地球環境保全にも役立つと考えられる。今後バナナペーパーを使用した商品開発にも取り組み、利用者の賃金、工賃に繋げていきたい。

<活動の様子>



連携先の企業等の意見または評価

私たち丸重製紙企業組合は本来の製紙業の枠に囚われず、「和紙の総合カンパニー」を目指して活動しています。バナナの茎を利用して和紙を作るとは今まで考えたこともありませんでしたが、社会福祉法人清穂会様より声をかけていただき、研究の結果、バナナの茎を配合した和紙を開発することができました。

本来は廃棄されるはずであったバナナの茎を和紙の配合に再利用することで、和紙の原料ともなる木材の消費を抑えることにもなりエコにつながることにもなります。

最終的には薄い茶色で独特の繊維感があり、印刷もできる紙質に仕上げることができ、高級感ある和紙とすることができました。バナナ和紙を清穂会様で制作されている名刺やうちわにも利用していただけており、使用用途は多種多様です。

SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献したいという、同じ目標を持った清穂会様と共同開発できたことが大変うれしく思います。今後も「和紙の総合カンパニー」として新商品の開発を行うことで、お客様に喜んでいただける和紙を作り、地域や和紙という伝統産業全体の発展に貢献していきたいと思っております。

連携先企業名	九重製紙企業組合	担当者名	常務理事 辻 将之
--------	----------	------	-----------